

八十八年正月ありて

寸止かゝる 本年に寸止い

急に冬になつてし予りた

ひたいた身をやるとおつたあつた

体温計をさすり不承がとどめをくつさつた

しい、血を分はわつて予の百三十八、八十一

心配は有り

おんが女がせ業をとり

ゆかおをかかつりお物たいつもやううた

けえ有り 少しくうくさう

望望二十一度 ストリービニ十五度と設定して

いさか 湯着はとりて来るい

そうだと 布国に 冬甲のかか布国を一枚

もつて来るよ 以外と寒い 北の和五百がん

だりにかつての思ひどなりが部屋から

もつて来るかやう

あなをかい 体全体をくるとでうた

そのあま三つ物 いらもの自分になつたあう

だ

朝が来た 文章をかき 少々すすりして布用の

中をかく

と半身布目の巾で手ぬぐい

巾の少しかい取でそくす

またで昨夜のよう

文章をかきやめ布目の巾もどる

巾くえもどる

巾で窓の巾

たしれ十一層を言つていふ

さい

これから冬になるのだから

ろくは原る

新垣カク

着いつもりでいふ

2020
10/18